

NUMBER 4

XSR900(2022~)用フルカウル 取り付け説明書

このたびは、弊社フルカウルキットをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の際は、この説明書の内容を充分理解した上でご使用ください。説明書の指示、注意および警告に反したご使用により発生した損害、想定範囲を超える損害には責任を負いません。

ご注意

整備資格のある方、または、認定工場での取り付けをおすすめします。取り付け説明書は、技能・知識がある方を対象としています。

対象車種以外への取り付けは、行わないでください。

取り付けたボルト・ナットは、取り付け後100km前後走行したあと、改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また、脱落や緩みがないか、乗車前には毎回、点検を行ってください。

フルカウルキットは、FRP製です。ガラス繊維の布を樹脂で固める製法のため、裏面には段差や継ぎ目、凸凹や補修跡があります。

透明スクリーンは、アクリル製です。清掃は中性洗剤を使用し、布で優しく拭いてください。ブラシなどで強くこすらないようにしてください。

法定速度で安全運転を心がけてください。

警告

火災の危険:作業中、近くにガソリンなどの可燃物を置かないでください。ガソリン漏れ、オイル漏れがある場合は清掃・点検を行ってから作業してください。

火傷の危険:エンジン始動中、停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっています。作業は、必ず冷間時に行ってください。

負傷の危険:作業の際は、必ず水平な地面に、車両を正しく停車して行ってください。また、長袖の作業服、手袋、安全靴、保護グラスなどを着用のうえ、作業を行ってください。

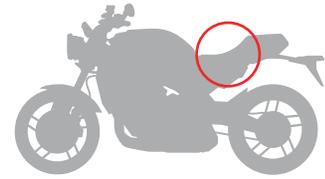
一酸化炭素中毒の危険:エンジンをかけるときは、必ず、外や換気の良い場所で行ってください。

脱落の危険:FRP製品・アクリル製品は、経年劣化で割れるおそれがあります。鉄製部品は、腐食などにより破損のおそれがあります。取り付け後は、乗車前に毎回点検してください。各部ボルト・ナットは、サービスマニュアルなどの締め付けトルクを厳守してください。

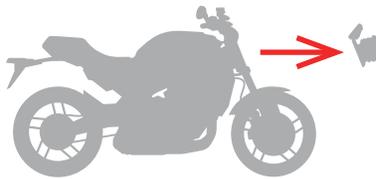


重要

バッテリーのマイナス端子を外しておきます。作業中にショートした場合、感電、車両火災、ヒューズ切れ、電球の球切れなどのおそれがあります。



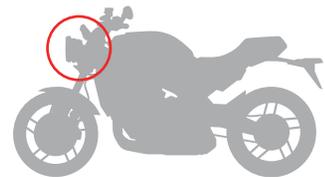
ヘッドライトの移設・カウル取り付け前の準備



A-1 ヘッドライトの取り外し



ヘッドライト左右の固定ボルトを外す。

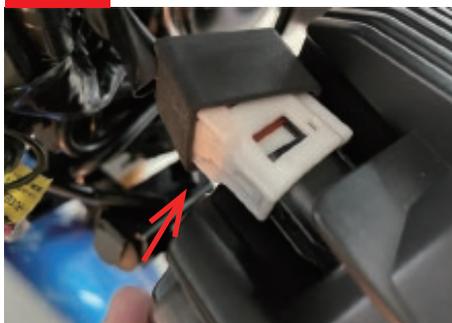


A-2



ヘッドライトを3cmほど上に持ち上げて、下部のマウントから引き抜く。後ろに配線がついているので10cm以上引っ張らないように注意して下さい。

A-3



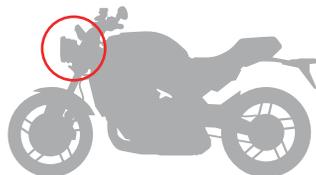
ライトのカブラーを外す。ツメは下部にあります。

取り外したヘッドライトは、一旦置いておきます。

B-1 ヘッドライトステーの取り外し



配線カバーを取り外す。
上部のツメと下部のボルト2本
で固定されています。使用しない
ので、大切に保管しておいて
ください。



カバー内の配線は、このように配置・固定されてい
ます。

B-2



カバー内のカプラー固定を外す。
裏側のツメをラジオペンチなどで
挟んでロックを解除し外します。
ホーンの配線をホーンから外して
おきます。

※外したカプラーには、後でわかるように番号を書いておくと復旧がスムーズです
※配線の中にはオプション用の余りのカプラーもあります

B-3



メーターを取り外す。
メーター本体のネジを外し、続い
てメーターのカプラーを抜いて、
(ツメがあります)その後、メー
ターを取り外します。

※メーターの端子には決して手を触れな
いようご注意ください。静電気により電子
回路が破損する恐れがあります

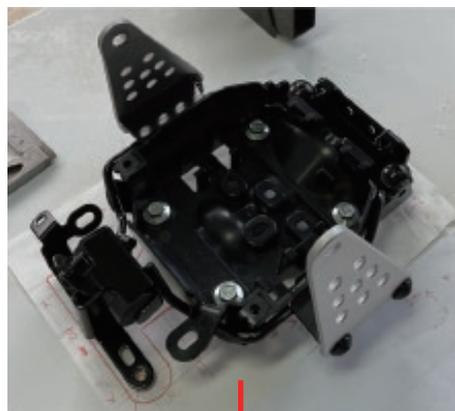


B-4



トップブリッジとアンダーブラケッ
トに4本のボルトで固定されてい
るヘッドライトステーを取り外す。
配線を避けながら引き抜きます。

配線BOX (樹脂製トレイ) を外す。
ネジ4本で固定されています。こ
の、配線BOXは、使用しないの
で、大切に保管しておいてくださ
い。



B-5



ホーンとステーを取り外
す。ホーン、ステーとボルト
は後で使用します。



使用

使用



C-1 ブレーキホースなどの再配線



右側上

トップブリッジ右側

右側フロントブレーキホースの固定金具を外し、ホースをフリーにし、キット付属のホースクランプ(13mm)2個を使ってブレーキホースをトップブリッジとアンダーブラケットの空いたネジ穴を使用して固定します。

左側の太い配線はキット付属のケーブルクランプ(19mm)でトップブリッジに固定します。クラッチワイヤーを内側に寄せて、結束バンドで固定します。



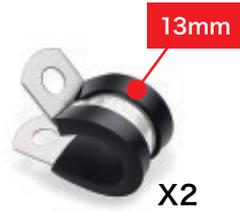
左側上

トップブリッジ左側



右側下

アンダーブラケット右側



13mm

X2



19mm

X1

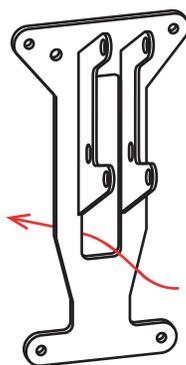
カウルステーの名称



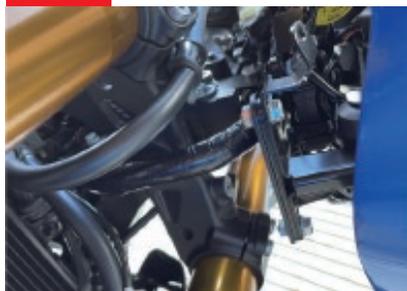
D-1 ヘッドライトステーブラケットの取り付け

ヘッドライトに接続する配線束を、ステー中心の四角い穴から手前に通す。大きなカプラーから一つづつ長いものから通していきます。

配線を通しながら、フルカウルキットに付属のヘッドライトステーブラケットを、バイクのフレームにボルト・ナット2本で仮止めします。



D-2



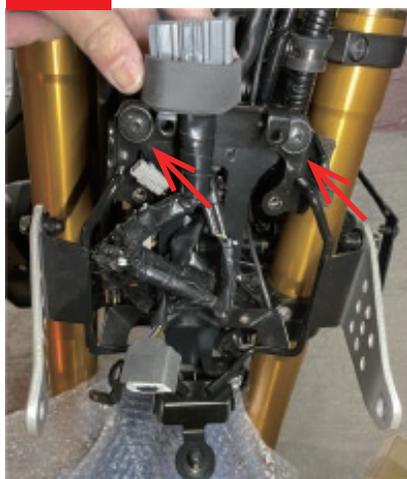
太い配線の束は、アンダーブラケットの中心を跨いで、ステーの真ん中へ入り四角い開口部から前面に取り出すようにします。

四角穴から配線が通ったら、挟み込みが無いことを確認して、ボルト2本を本締めします。

写真は完成状態を下から撮影しています。



D-3 純正ヘッドライトステーの取り付け



取り外しておいたノーマルのヘッドライトステーを、キットのヘッドライトマウントステーブラケットに、4本のボルト・ナットで固定します。

この時、純正のホーンステーを間に挟みます。スペーサーを兼ねていますので必ず挟み込んで下さい。

ラバーマウント（純正と同じ固定方法）なので、衝撃吸収のため少し遊びがあるのが正常です。

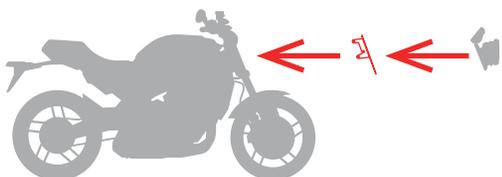
上の2本のボルトは純正をそのまま使いますが、ナットはキットに付属のワッシャーと袋ナットを使用します。



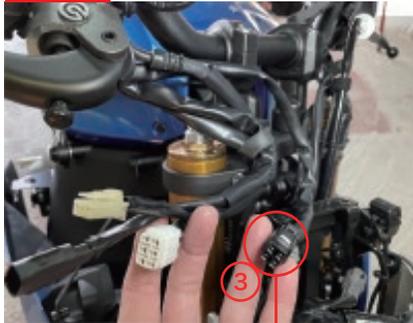
純正のホーンステーは、180度回転させて逆さまに挟み込みます。



下側の2箇所は、キットに付属のボルトナットを使用します。



E-1 ハンドルからの配線の取り直し

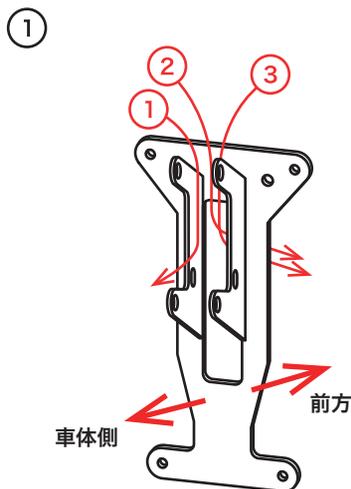


右ハンドルスイッチ部からの配線3本と、左ハンドルスイッチからくる配線2本を、ハンドルを左右に切った際に無理な力がかからないよう、最長になる経路で取り直し、中央に寄せます。

右側の黒いカプラーと、左側配線は、ヘッドライトステーブラケットと、ヘッドパイプの間を通します。

ホーン配線①は、ヘッドライトステーブラケット右側から出しておきます。

中央を通した灰色②と黒③のカプラーは、それぞれ同色のカプラーと連結し、ヘッドライトステーブラケットの穴に納めます。



2本の連結部はステーの中に入ります。ハンドル側に余裕を持たせたいので、完全に押し込みます。

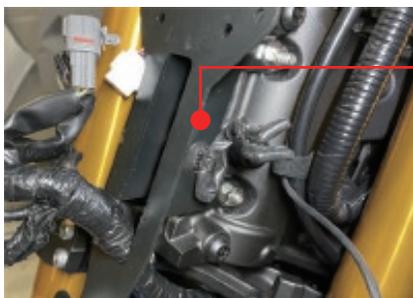
E-2 カプラーをヘッドライトステーブラケットに取り付ける



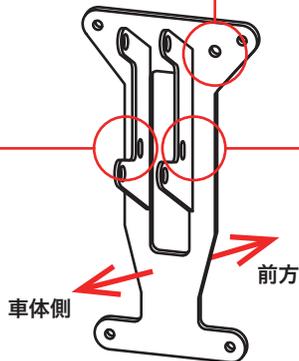
右側・白色カプラー

左ハンドルスイッチからのホーン用配線と、車体からの太い配線から枝分かれした配線のうち、ハンドルからの配線に接続されるカプラーを、写真を参考に、ヘッドライトステーブラケットに取り付けます。

※写真は見やすいように、ヘッドライトステーが無い状態で撮影しました。



左側・ホーン用配線

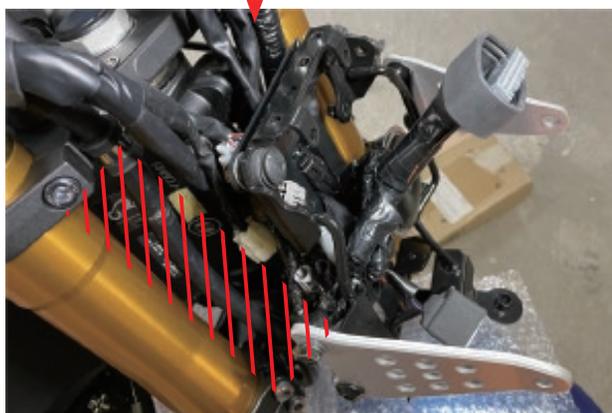


右側・黒色カプラー

E-3 カプラーの結線

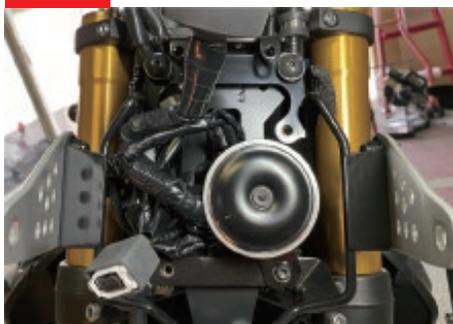


ハンドル右側からの、残りの配線を繋ぎます。



重要 ケーブルは、ヘッドライトステーブラケット固定部との間に挟まらないよう、フロントフォークの近くに配置しないでください。

E-4 ホーンの取り付け



ホーンをステーごと、純正のライトステーの余ったネジ穴のうち、右下の穴を使い、固定します。緩まないように強く締め付けます。



ホーン取り付け位置

配線をホーンに接続します。

E-5 メーターの取り付け

B-3 の逆の手順で取り付けます。

※防水ラバーを確実に被せてください。
※メーターの端子には決して手を触れないようご注意ください。静電気により電子回路が破損する恐れがあります。

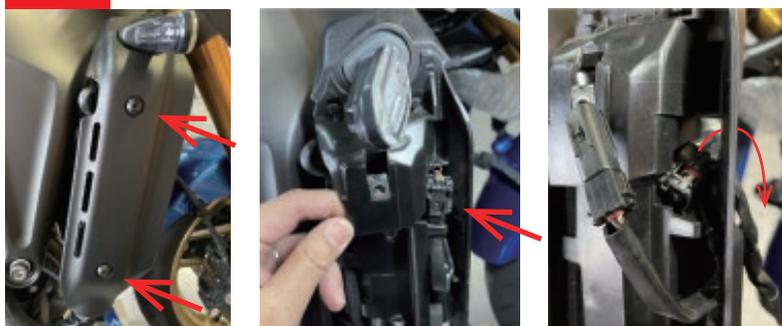


E-6 ヘッドライトの取り付け

A-1 ~ **A-3** の逆の手順で取り付けます。

重要 ※この段階で、バッテリーのマイナス端子を繋ぎ、エンジンをかけ、灯火器、ホーン、メーターなどがきちんと動作するかチェックをします。
※カウルを取り付ける前に、ヘッドライトの光軸を調整することをお勧めいたします。
※動作チェックが終わったら、このあとの、ウインカーを取り外す行程の前に、もう一度バッテリーのマイナス端子を外しておきます。

F-1 ウインカーの取り外し (左右両側)



ラジエーターカバーの固定ボルトを外し、カバーを上側に引っ張って外します。

ウインカーのカプラーを抜き、外に引き出しておきます。



F-2

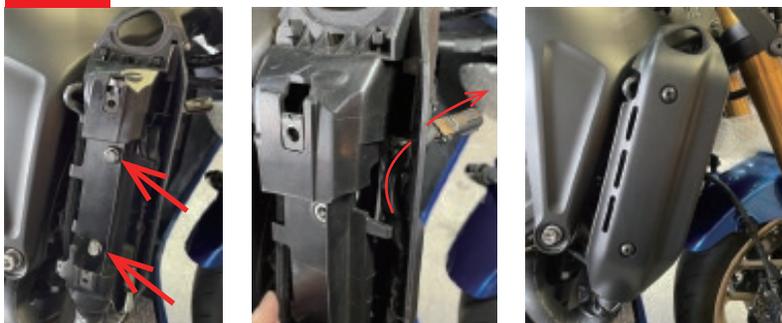


ウインカー本体の裏側のロック板を外し、内側を手で押さえつつ、外側からウインカー本体を引き抜きます。

ウインカーはラバーマウントです。ラバーパーツが分離した場合、元の位置に戻しておきます。

ウインカーは後で使用します。

F-3

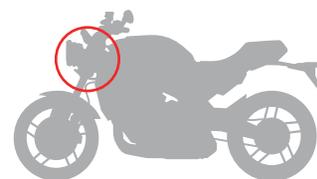


ラジエーターに固定されている樹脂製のパーツのボルト2本を外して少し浮かせ、隙間からウインカーのカプラー配線を奥側に引き出します。

カプラーが引き出せたら、樹脂製パーツと、ラジエーターカバーを元通り取り付けます。

※左右両側、同様に行います。

カウルステーの取り付け



G-1 サブアッパーカウルステーの取り付け

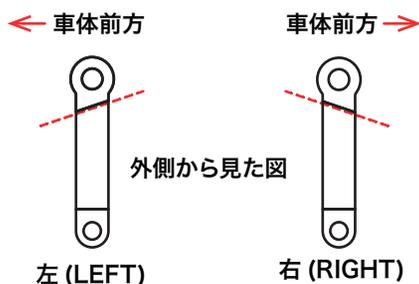


ステーは左右で違いますので注意してください。

ヘッドライトステー上側の純正ボルトを利用して共締めします。現時点では、少し動くように、仮締めしておきます。



車体に取り付けた際、先端の前方が狭くなる「八」の字のような角度になります。



先端の穴には、ウェルナットを差し込んでおきます。

G-2 アッパーカウルステーの取り付け



ステーは左右共通です。

アッパーカウルステーを車体に取り付ける。キットに付属のボルトを利用して取り付けます。現時点では、少し動くように、仮締めしておきます。



先端の穴には、ウェルナットを差し込んでおきます。

G-3 右側カウルステーの取り付け



締め付けトルク：25Nm

車体右側の、センターカウルステーとアンダーカウルステーを取り付ける。

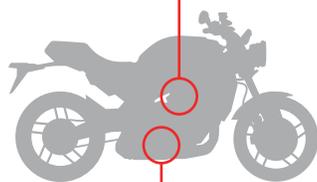
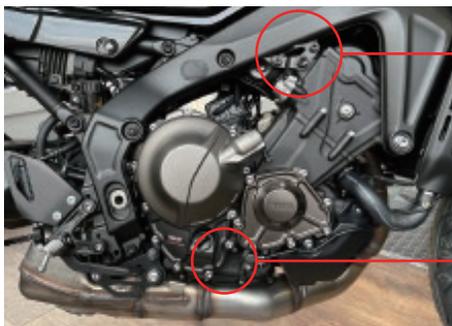
センターカウルステーは、エンジンマウントボルトと共締めします。

アンダーカウルステーは、クラッチカバーのボルトと共締めします。

G-4



締め付けトルク：12Nm



G-5 左側カウルステーの取り付け



締め付けトルク：25Nm

車体左側の、センターカウルステーとアンダーカウルステーを取り付ける。

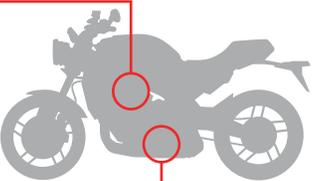
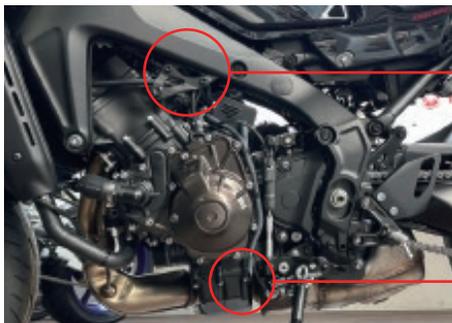
センターカウルステーは、エンジンマウントボルトと共締めします。

アンダーカウルステーは、オイルパンのボルトと共締めします。

G-6

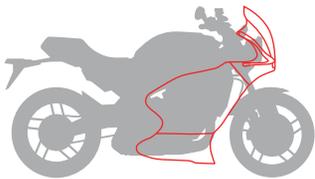
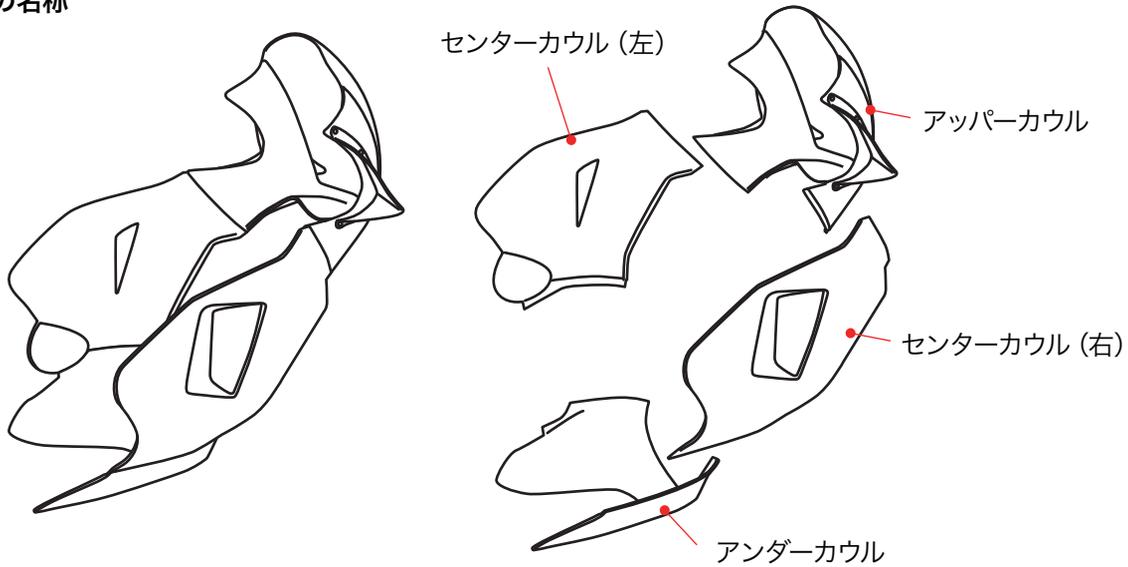


締め付けトルク：13Nm
要ネジロック剤



カウルの取り付け

カウルの名称

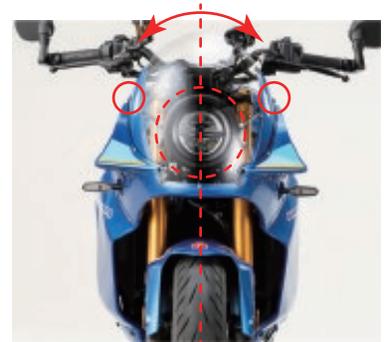


※前工程までで、ステーには、ウェルナットやクイックファスナーの受け側パーツが接続済みの状態になっています。

H-1 アッパーカウルの取り付け



アッパーカウルをサブアッパーカウルステーに仮止めする。
左右同じように止めます。



H-2 センターカウルの取り付け



センターカウルを手で支えながら、中央のクイックファスナーを止めます。

次に、アッパーカウルとの接続部分、3つの穴の一番前側の1つのみ、ウェルナットを使用して仮止めします。
左側も同様にします。



H-3 アンダーカウルの取り付け



左側

※一人で取り付ける場合は傷付き防止のため、箱などに乗せて作業するとスムーズです。



左側

アンダーカウルを、センターカウルに合わせ、車体後方から順に、クイックファスナーで取り付けます。

右側、左側少しづつ、カウルの位置を合わせながら、止めていきます。

最後に、車体に取り付けたステーに対して、クイックファスナーで取り付けます。



右側



右側

※クイックファスナーが締めにくい場合、裏側の金具を手で押しながら差し込んでください。

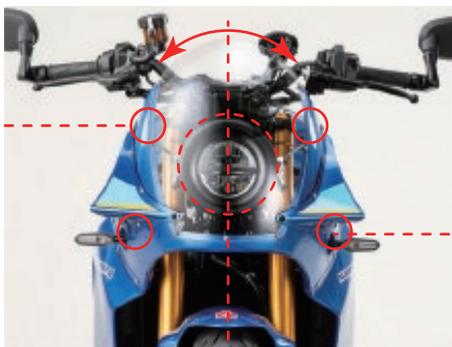
H-4 サイドカウルの本締め



アッパーカウルと、ヘッドライトのセンターが合うように調整をしながら、アッパーカウルとサイドカウルを接続するウェルナットを締め込みます。



ウェルナットの適切な締め込み具合。



サブアッパーカウルステーと、アッパーカウルステーの角度を調整することで、アッパーカウルの位置を調整することができます。



新品のウェルナットとの比較。

H-5 カウル・ステーの本締め



参考締め付けトルク：6Nm



参考締め付けトルク：8Nm

カウルの固定がうまくいったら、ステーと本体の接続ボルトを本締めします。外れないよう、しっかりと締め付けます。

この部分の締め付けトルクは、参考値くらいで、締め込みすぎないように気をつけてください。

ウインカーの取り付け

I-3 ウインカーの取り付け



F-2 で、取り外した時と逆の要領で、取り付けます。

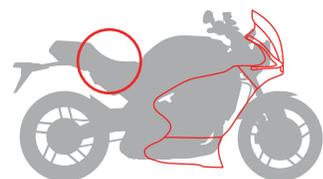


配線はこのような経路でノーマルのウインカー固定部の穴を通してカプラーと連結します。

重要 ※以上でフルカウルキットの取り付け工程は終了です。
ボルト・ナットの締め忘れや、ケーブル類のつけ忘れ、挟み込みが無いか、十分に確認してください。



重要 バッテリーのマイナス端子を取り付けて、動作確認をします。



作業についてご不明な点、また、補修部品に関するご質問が
ございましたら、お気軽に弊社までご連絡ください。

NUMBER 4

株式会社 ナンバーフォウグラフィックス
〒814-0123 福岡市城南区长尾2-13-1 COZY PLACE NAGAO 201

ナンバーフォウグラフィックス：工場
857-1172 長崎県佐世保市東浜町879-3 サイド3
<https://n4g.base.shop>
メール：shop@n4g.jp